

姉妹都市 交流

～国分寺市(東京都)～

1200余年前の天平時代、聖武天皇しやうむくの詔勅により建立された武蔵国分寺と佐渡国分寺のとりもつ縁で、平成元年4月に国分寺市と旧真野町の間で姉妹都市の盟約が結ばれ、佐渡市合併後の平成17年2月、佐渡市として改めて姉妹都市の提携を盟約しました。

国分寺市は、東京都の中央に位置する東京の近郊都市で、東京都の多摩地域に位置する市です。面積は11.48㎢で、佐渡市の75分の1ほどですが、人口は約12万人と佐渡市の約2倍です。

奈良時代の天平13年(741年)、武蔵野台地を背にした平原部(現在の国分寺市西元町)において国分寺の建立が開始され、完成した武蔵国分寺は、諸国の国分寺の中でも広大な敷地を有し、僧寺金堂は最大級の規模を誇りました。多摩地方は、国府設置、国分寺建立によって武蔵国の政治・文教の中心として、経済・交通・文化・産業等あらゆる面で発達しました。そのため、国



武蔵国分寺



真姿の池湧水



分寺市には今でも多くの史跡や文化財が残っています。

現在は、都心部へのアクセスに優れているため、住宅都市として発展している一方、崖線緑地や湧水池などの自然や農地が多く残り、「お鷹の道・真姿の池湧水群」といわれる湧水群は名水百選に選定されています。

例年の主な交流事業としては、夏に小・中学生を対象としたジュニアサマー野外活動交流会や水泳愛好者による遠泳交流会が佐渡で行われているほか、8月の武蔵国分寺新能や、11月に開催される国分寺まつりには、佐渡の芸能団体等が国分寺市から招待されているなど、交流を深めています。

佐渡國しま海道 よれっちゃ伝言板

佐渡國しま海道活動中です!

道を通して佐渡の地域資源、ヒト・モノ・コトを繋ぐ佐渡國しま海道の活動は3年目に入ります。美しい道プロジェクトに選考された各重点プロジェクトの推進と並行して、小さな道の駅「寄れっ茶屋」を全島に拡大するため、登録事業を行っています。佐渡國しま海道の活動を、よろしく願います。



現地見学の様子

小さな道の駅「寄れっ茶屋」



旅の途中でちょっと道を尋ねたり、トイレを借りたり…。そんな「小さな道の駅」が島のあちこちにあると良いのでは…。佐渡國しま海道では、そうしたささやかなおもてなしの場所を「寄れっ茶屋(よれっちゃや)」と名付けました。この「のほり」を見かけたら「寄れっ茶屋(よれっちゃや)」です。お気軽にお立ち寄りください。「寄れっ茶屋」に登録を希望される方はお問い合わせください。

現地見学会のお知らせ トキ街道・山みちを歩く

佐渡國しま海道では佐渡の風景、自然、文化を知るための現地見学会を行っています。佐渡國しま海道の重点エリアである小佐渡東部エリアのトキ街道・山みちの見学会を行います。

実施予定日：8月23日(日)、9月27日(日)、10月25日(日)、11月22日(日)

集合：市役所新穂行政サービスセンター(午前9時集合、午後4時ごろ解散)

コース：生椿、キセン城、清水平のトライアングルトレッキングコース。

久知川ダム展望、キセン城・大佐渡山脈・両津の大湾展望、時間があれば清水平でピオトープ作りの作業。約6時間の快適なトレッキング。(中級山岳コース) ※参加費等、詳しくはお問い合わせください。



お問い合わせ 市役所建設課 ☎63-5118